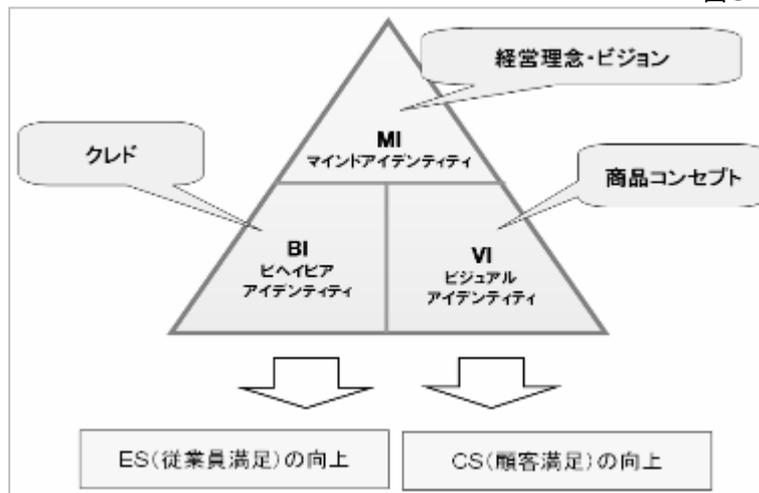


ES経営が必要とされる背景

ESなくしてCSなし

図5



このような企業では、企業の経営理念、哲学を社員全員に浸透させるために相当な投資をしています。この企業の経営理念、哲学にあたる部分をMI（マインドアイデンティティ）と言います。

また、社員がこのMIに従って行動できるようにするための行動、活動のためのガイドラインをBI（ビヘイビアアイデンティティ）と言います。

これは言わばクレドと同じものです。

「これをしなさい」と社員の行動を規制するのではなく、「こういう考え方で行動しなさい」という指針を示すものです。だからこそ、社員が臨機応変に考えながら行動することが出来るのです。

そして、商品コンセプトやそれを具現化した視覚化されたものをVI（ビジュアルアイデンティティ）と言います。これは、単なるキャッチコピーやマークではなく、その企業、商品の理念や哲学を象徴したものです。

このMI、BI、VIという3つのサイクルを回すことによって、その企業の商品が消費者からの支持を得ることが出来るのです。